


審査結果報告書

2020年1月27日

主査氏名 馬嶋 正隆 

副査氏名 岡本 浩嗣 

副査氏名 新井 秀康 

副査氏名 天羽 康之 

1. 申請者氏名 : DM16031 柳澤 正之

2. 論文テーマ :
Long-term (10-year) efficacy of finasteride in 532 Japanese men with androgenetic alopecia
(男性型脱毛症の日本人男性 532 症例におけるフィナステリド治療についての長期間 (10 年間) 有効性調査)

3. 論文審査結果 :

男性型脱毛症 (AGA) は、思春期以降の男性において頭髪が進行性に薄くなる脱毛症で、テストステロンの II 型 5α 還元酵素代謝物、デヒドロテストステロンによる毛母細胞の機能抑制が原因と考えられている。申請者は、II 型 5α 還元酵素阻害薬フィナステリドの 532 例の治療効果を、10 年間にわたって評価した。試験に参加同意を得られた症例において、有効性は客観的な modified global photographic assessment score (MGPA) を用いて評価した。

フィナステリド 10 年間治療後の MGPA 評価では、MGPA 5 以上の改善例は全体の 91.5% で認められた。AGA 早期治療開始群が、それ以外に比べ有意な改善を認めた。合わせて行った主観的有効性評価でも、今後の治療意欲が高いことが判明した。

申請者は、主学術論文を中心に成績をプレゼンし、主査および副査からの質問にも概ね適切に答えることができた。主な質問は、デヒドロテストステロンによる脱毛機序、MGPA 判定における写真の評価法、MGPA 判定における判定者間のバラツキの有無、他の薬物との比較、フィナステリドの前立腺への影響等であった。

主査、副査の合議の結果、医学博士の学位にふさわしいと判定された。